

令和6年度 第5回 伊勢地域公共交通会議

日時 令和7年3月11日（火） 15:30～

場所 いせ市民活動センター 2階 多目的ホール

事 項 書

1. 開 会

2. 議 題

議案第1号 伊勢市地域公共交通計画について

- ・「（改訂）伊勢市地域公共交通網形成計画」の計画延長について
- ・次期計画の成果指標（KPI）案について

議案第2号 令和7年度 事業計画（案）について

議案第3号 令和7年度 事業収支予算（案）について

議案第4号 令和6年度 事業収支補正予算（案）について

報告第1号 おかげバスデマンド（予約制）の運行事業者について

報告第2号 伊勢市「日本版ライドシェア」実証事業について

報告第3号 神宮125社めぐり（二見エリア）の完成について

3. そ の 他

4. 閉 会

伊勢市地域公共交通計画について

・「(改訂) 伊勢市地域公共交通網形成計画」の計画延長について

1. 現行の計画を令和 8 年 3 月まで延長します

本計画が令和 7 年 3 月をもって計画満了となりますが、次期計画の「伊勢市地域公共交通計画」をより実のある計画とするため、次期計画の策定目標を令和 8 年 3 月（上旬）とします。それに伴い、現行の計画期間を令和 8 年 3 月まで延長します。

なお、令和 8 年度事業（令和 7 年 10 月から令和 8 年 9 月まで対象）のおかげバスと沼木バスの国庫補助申請については、現行の計画を延長して申請します。

2. 「伊勢市地域公共交通計画」の策定について

上記のとおり次期計画の策定期間が令和 8 年 3 月（上旬）となることから、計画策定までの間、引き続きコンサル等から計画策定業務における支援を受けることとしたい。

【資料】

別紙 1－1 「伊勢市地域公共交通計画」策定スケジュール（案）

「伊勢市地域公共交通計画」 策定スケジュール（案）

作業項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務委託入札・発注（完了）												
計画の準備（完了）												
現状の把握（完了）												
伊勢市に係るデータの整理（完了）												
PT調査に係るデータの整理（完了）												
公共交通利用状況に係るデータの整理（完了）												
アンケート結果の整理（完了）												
これまで取組結果の整理（完了）												
上位関連計画の整理（完了）												
地域公共交通を取り巻く課題の整理（完了）												
伊勢市地域公共交通計画案の作成												
オープンハウスの開催												
パブコメの実施												
伊勢地域公共交通会議の開催												

6月の第1回会議の意見を反映した計画案
でオープンハウス開催
→夏休み期間の学生の意見も聴取

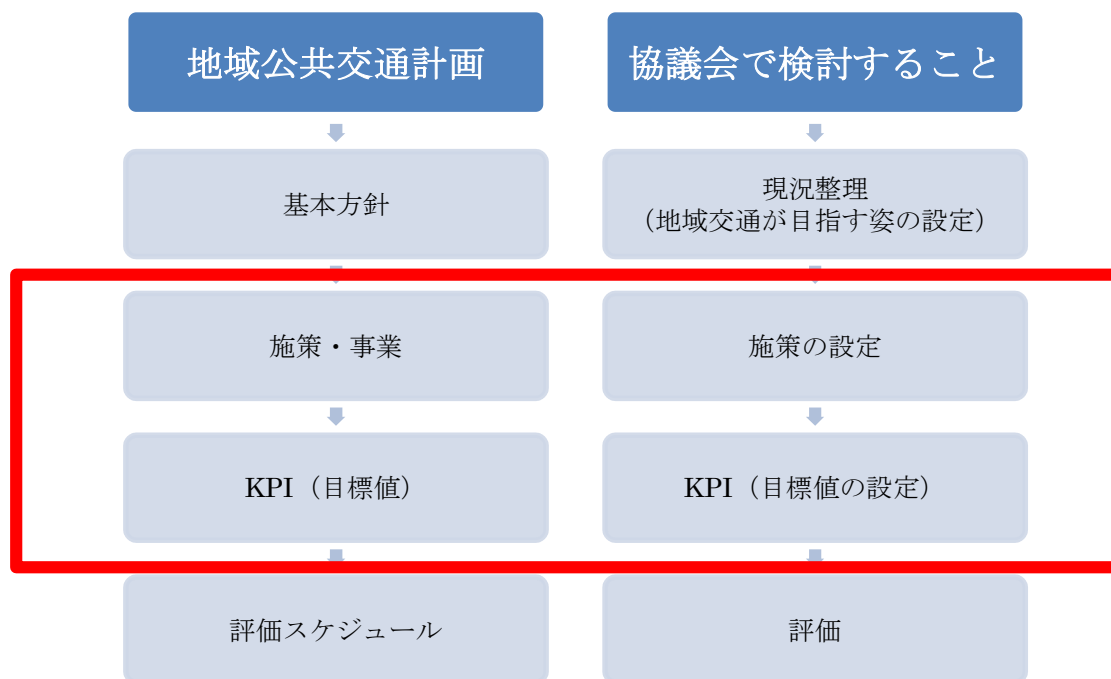
印刷・納品

策定

- ・ 第1回公共交通会議（6月頃）
→計画案（素案）
- ・ 第2回公共交通会議（10月頃）
→計画書（オープンハウス反映・修正案）
 - ・ 市長,副市長説明（10月下旬頃）
 - ・ 正,副議長説明（11月上旬頃）
 - ・ 正,副委員長説明（11月上旬頃）
 - ・ 産業建設委員協議会（11月下旬）（12月議会）
- ・ 第3回公共交通会議（1月頃）
→計画書の最終承認（最終案）
 - ・ 市長,副市長説明（1月下旬頃）
 - ・ 正,副議長説明（1月下旬頃）
 - ・ 正,副委員長説明（1月下旬頃）
 - ・ 産業建設委員協議会（2月上旬）（3月議会）
- ・ 第4回公共交通会議（3月頃）
→計画策定（3.17まで）

・次期計画の成果指標（KPI）案について

本会議では、伊勢市が目指す地域交通（気軽におでかけができ、交流と活力に満ちた地域社会を支える地域公共交通）の実現に向け、施策と成果指標（KPI）の設定について協議します。



KPI（目標値）は、施策の進捗や効果を的確に説明できるものを設定します。KPI に基づいたモニタリングを行うことで、計画の実行力を高めることができます。

次ページから計画の基本方針を達成するための施策案と想定する KPI 案を示しますので、各項目について協議をお願いします。

次期計画の目標・施策・KPI（案）

★：重点目標・重点施策

目標	想定する施策	関連 KPI	想定するKPI	
基本方針1 日常生活で利用できる公共交通を目指す				
目標① 路線バスの運行維持・改善（←なぜ路線バスとコミバスを別にするのか？）				
(1)路線バスの運行維持・改善★	一定の利用者・収益確保に向けた、バス事業者や他の交通事業者、市、地域住民など各主体が連携し利用促進に取り組む	①③④ ⑤	①外宮内宮線・CAN ばす・二見サンアリーナ線を除く路線バスの利用者数 ②乗合バス運転手の充足率（100%） ③公的資金投入額（物価変動を踏まえて現状維持） ④収支率 ⑤公共交通分担率の向上 （通勤・通学時の移動手段について国勢調査・アンケートから把握 現計画 p 2-11のイメージ）	
	地域の特性や利用状況に応じた運行内容の改善にも取り組む	①③④ ⑤		
	ドライバー確保に向けた取組を推進	②		
	コミュニティバスや地域が運営主体となる交通、タクシー事業者と連携し、交通空白地帯の解消に向けた取組を推進	／		
(2)路線バス網の再編★	現状の運行状況を踏まえた路線の統合、運行ルートの見直し、鉄道やコミュニティバスとの役割分担なども見据えた再編を適宜実施	①③④ ⑤		
(3)周辺市町との連携促進	周辺市町との情報共有や周知活動、利用促進活動の展開など、連携を強化、促進	／		
目標② コミュニティバス・地域が運営主体となる交通の運行継続・改善				
(1)おかげバス、おかげバスデマンドの運行維持・改善★	継続的な周知、利用促進活動（バスの乗り方教室・バスポスターコンクール開催・伊勢まつりへの出展など）を展開	①②④ ⑤⑥	①おかげバス・おかげバスデマンドの利用者数 ②おかげバス環状線の利用者数 ③1日乗車券・乗り継ぎ券の利用者数 ④公的資金投入額（物価変動を踏まえて現状維持） ⑤収支率 ⑥公共交通分担率の向上（通勤・通学時の移動手段について国勢調査・アンケートから把握 現計画 p 2-11のイメージ）	
	送迎車両からコミュニティバス利用への転換も視野に、各運行事業者や経由・連絡する施設とも連携しながら、利用者ニーズ、潜在ニーズ、現状の運行状況を踏まえ、運行方法や運行ルートの変更などのコミュニティバス路線網の再編を実施。	①②④ ⑤⑥		
	乗り継ぎ環境の改善、ダイヤ調整などの利便性の向上を適宜実施	①～⑥		
	周辺市町との情報共有や周知活動、利用促進活動の展開など、連携を強化、促進	／		
(2) 市内環状バスの運行維持・改善★	HPやSNSを活用したダイヤ変更、時刻表や路線図、乗車券の情報などの継続的な周知、利用促進活動を展開	①～⑥		
	おかげバスや路線バス、鉄道などとも連携した、乗り継ぎ利便性の確保などの改善など適宜実施	①～⑥		
(3)地域主体の自家用有償旅客運送の運行維持・改善★	沼木バス：運行方法も含め、運行経費を削減するための改善を実施し、運行を維持	①②	①沼木バスの利用者数 ②沼木バス委員会との協議回数	
	運行管理や点検等を含めた車両管理のノウハウについても、次世代への引き継ぎを行う	②		
(4)地域が自ら検討し運営する地域交通の導入	地域が自ら中心となって必要性を検討し、地域の実情にあった地域交通を導入	②	①おかげバス・おかげバスデマンドの利用者数 ②沼木バスの利用者数、地域運営乗合タクシーの利用者数 ③年間利用者数72 名未満のコミュニティバス停留所の割合	
	市やバス事業者、タクシー事業者等の交通事業者が連携し、積極的にサポートするとともに、「地域運営乗合タクシー運行事業補助金」等、市による運行に係る補助制度を継続する。また、地域交通の導入について市・地域住民・事業者が議論する場を積極的に設けることや、「事業者協力型自家用有償旅客運送」を活用していく。	②		
(5)ICカード利用データの活用	ICカード利用履歴を活用した路線や運行ダイヤの見直しを実施	①③		
(6)地域や施設との連携による利用促進	沿線の施設や店舗等と連携し、コミュニティバス利用者に対する買い物代金や入場料の割引、粗品進呈等のサービス実施の可能性について検討し、実施	①③		
	各地域で実施されているイベントとも連携し、コミュニティバスの利用促進を図る	①③		
目標③ 公共交通の利便性向上				
(1)乗継割引制度・おでかけ乗車券の継続	多様な媒体での広報など、乗り継ぎ割引やおでかけ乗車券の利用促進に取り組む	①②	①1日乗車券・乗り継ぎ券の利用者数 ②おでかけ乗車券交付率（現計画 p 2-104） ③主要鉄道駅の乗客数（JR伊勢市駅・近鉄伊勢市駅・宇治山田駅・五十鈴川駅） ④シェアサイクルポート数（もしくは利用者数）、レンタサイクル利用者数 ⑤タクシー実働率（各営業所より運輸局へ報告している数値の活用）※伊勢志摩管内 公表可確認中 ⑥タクシー登録台数（ライドシェアを含む） ⑦チャットボット「公共交通案内」の利用回数 ⑧新たに設置した上屋、ベンチ等の個数	
(2)「公共交通ネットワーク見える化」の推進	「三重県内の公共交通ネットワーク見える化プロジェクト」と連携し、インターネットを通じて公共交通の乗り継ぎ検索サービスを提供する民間事業者への情報提供を実施	／		
(3)バスロケーションシステムの活用	バスロケーションシステムを活用し、病院など沿線の施設への到着案内サイネージの設置を推進	／		
(4)バス停環境の改善★	主要なバス停における乗り継ぎなどの案内表示や上屋、ベンチ等の整備による環境の改善を検討、実施	⑧		
	路線バスとコミュニティバスとのバス停名称が異なっている箇所もあるため、バス停名を統一するなど、わかりやすい環境へ改善	／		
(5)利用しやすい公共交通環境の整備★	公共交通と日常のお出かけ先を結ぶシェアサイクル・レンタサイクルの利用促進	④		
	タクシー乗務員の確保やライドシェアなどの取組推進により、タクシーによる少量の移動に対する機動性や柔軟性を活かしたより細かい移動ニーズへの対応を図る	⑤⑥		
	鉄道事業者とバス事業者との連携によるダイヤの調整等を行い、市内における鉄道の利用促進	③		

目標	想定する施策	関連 KPI	想定するKPI	
基本方針2 公共交通を利用した観光交流人口の増加を目指す				
目標① 公共交通を利用した観光振興の推進				
(1)観光施設との連携による公共交通の利用促進	観光施設など多くの人が集まる施設やエリアに関して利便性や周遊性の高い公共交通を提供	①②	①内宮参拝者の公共交通利用率 ②外宮内宮線・CAN ばす・二見サンアリーナ線路線バスの利用者数 ③シェアサイクルポート数（もしくは利用者数）、レンタサイクル利用者数 ④主要鉄道駅の乗客数（JR伊勢市駅・近鉄伊勢市駅・宇治山田駅・五十鈴川駅） ⑤企画きっぷの販売数（まわりゃんせ、デジタルまわりゃんせ、伊勢鳥羽みちくさきっぷ、デジタル伊勢鳥羽みちくさきっぷ、みちくさきっぷ、デジタルみちくさきっぷ 等） ⑥観光型Maas（ぶらりすと）を通して切符等を購入した利用者数 ⑦「公共交通でゆく 神宮125社めぐり帖」HPアクセス数 ⑧外国人観光客の内宮参拝者数 ⑨HP、SNS、LINE等の媒体による情報発信回数 ⑩さわやかウォーキングにおける啓発活動回数、参加者数	
	さわやかウォーキングなどイベントを通し、鉄道を利用した来勢の増加促進などを図る	⑩		
	「公共交通でゆく 神宮125社めぐり帖」のコンテンツ作成による公共交通の利用促進	⑦		
	C A N ばすなど周辺市域へ発着している路線は、周辺市と連携し、より効果的なバス路線の構築を検討	②		
	①遷宮に向けた交通環境の整備 自動運転バスの観光路線への導入検討や、「日本版ライドシェア」等による早朝・夜間の時間帯の交通空白の解消に取り組む	⑧		
	②外国人観光客の受け入れ体制強化 公共交通機関での多言語表示やピクトグラム表示、外国語の案内パンフレットの作成等、インバウンド受入体制の強化を図る			
	③観光施設へのアクセスの円滑化 路線バスによる観光施設へのアクセス方法やモデルルートを記載したチラシの配布やHP・SNSでの情報発信を実施	⑨		
	④渋滞対策の実施 伊勢地域観光交通対策協議会が主体となり、ゴールデンウィーク、初参りの際のパークアンドバスライドの実施（自家用車から公共交通への積極的な移行）	①②		
	④市内における鉄道の利用促進 GTFS-リアルタイムや伊勢市公共交通総合時刻表など、公共交通の総合的な乗車案内を実施し利用促進を図る			
	⑥鉄道とバスの乗り継ぎ強化やシェアサイクル・レンタサイクルなどあらゆる交通機関を活用し、観光施設へのアクセス強化を図る（二次交通の充実）	①②③		
	(3)企画きっぷによる利用促進	季節やイベントも踏まえた新たな企画きっぷの販売継続による周遊観光の促進 「観光型Maas（ぶらりすと）」など鉄道事業者やバス事業者、観光施設等が連携した伊勢市内及び伊勢志摩地域のMaasへの取組継続による周遊観光の促進		④⑤ ④⑥
	(4)マイカー観光から公共交通観光への転換促進	鉄道・バスによるアクセス方法や料金等の周知		⑨
マイカーによる「ショートカット観光」から、公共交通を利用した「地域を味わう観光」への転換を促進する		⑨		
宿泊施設との連携検討（例：鳥羽志摩など市外の宿泊施設から市内の観光施設へのアクセス周知、公共交通利用者へのインセンティブの検討など）				
基本方針3 地域の関係者が協働・連携しながら公共交通を支える				
目標① 利用するきっかけの創出				
(1)公共交通の利便性、実用性等の情報発信	地域住民が公共交通の利点を理解し、自ら利用することを目指し、その取り組みを支援するための事業を実施（バスポスターコンクール開催、伊勢まつりへの出展、バスの乗り方教室の継続） 市外からの来訪者が公共交通に関する情報を簡単に入手できるように、わかりやすい情報提供を実施し（時刻情報提供サイト・GTFS-リアルタイム）、認知度の向上や新規需要の掘り起こしを図る	①	①公共交通の啓発・利用促進事業に参加した人数【カウント方法の明確化が必要】 ②子育て世代、高齢者、高校生・大学生の公共交通満足度（市民アンケートで10代～30代・70代以上の満足度） ③セーフティバス購入者数	
	(3)子育て世代や学生・高齢者の公共交通を利用したお出かけ促進	①運転免許証自主返納者の外出支援 「運転経歴証明書」を活用した支援制度（セーフティバス）の継続		③
		子育て世代、高齢者、学生の利用ニーズ調査や、潜在ニーズ調査を実施し、ニーズにあった利用促進策の実施		②
		高齢者の料金負担低減（おでかけ乗車券）の継続と、ニーズ調査結果を踏まえた新たな利用促進策の実施		②③
	(4)みえエコ通勤デーによる利用促進	おでかけ乗車券のタクシー利用の継続など、多様な交通手段で利用できる料金負担低減策の推進		②③
「みえエコ通勤デー」により公共交通の利用促進を図る 「ノーマイカーデー」の取り組みも推進				
目標② わかりやすい情報提供の展開				
(1)時刻表の発行	コミュニティバスなどの時刻表を掲載した時刻表を配布を実施		■モニタリング指標（目標を達成しているためKPIは設定しないが、継続的に数値を把握） おかげバス・おかげバスデマンドのページ（伊勢市ホームページ）アクセス数【望ましい方向：増加】 ①HP、SNS、LINE等の媒体による情報発信回数	
	SNSの活用も含めた多様な媒体により周知を継続的に実施	①		
	(2)広報紙や市ホームページ等多様な媒体による情報提供	GTFS-リアルタイムや伊勢市公式LINEアカウントによるチャットボットの「公共交通案内」導入等、より多くの方々にとってわかりやすい公共交通の利用環境の形成に向けた取組を継続		①
		各鉄道駅や主要なバス停までの案内表示を道路上に設置するなどの取り組みも実施		

目標	想定する施策	関連 KPI	想定するKPI
目標③ 公共交通を地域で支え、育てる			
(1)地域公共交通会議の活用	定期的な「伊勢地域公共交通会議」の開催（PDCAサイクルを通じたスパイラルアップ）。新たな地域公共交通課題が発生した場合は、その課題の関係者へ会議出席を依頼し、課題解決に取り組む。また、市と交通事業者や関係者との意見交換や対話の場を設け、地域公共交通課題が深刻化する前に対応を検討できる関係性構築に努める。さらに、地域とともにある協議会を目指し、委員をはじめ関係者からの情報提供や問題提起を行う。		■モニタリング指標（目標を達成しているためKPIは設定しないが、継続的に数値を把握） 伊勢地域公共交通会議の開催数 【望ましい方向：4回/年以上上の定期開催+地域課題に応じた臨機な開催】
		計画の内容や、公共交通会議における検討状況等についてホームページ等を通して、定期的に情報提供を行う	
(2)地域意見の把握	潜在ニーズ調査などを通じて地域ニーズを把握		
	地域主体型交通エリアなどにおいて、各幹線や支線へのアクセスや地域内の日常的な生活移動を支える地域公共交通について必要性を検討し、地域特性やニーズに応じた効率的な運行や運賃負担についてや、バス待ち環境の改善や維持管理など、市民自らが考える機会を設ける		
(3) 広告協賛金事業等多様な収入源の確保	バス停のネーミングライツ（命名権）を実施		
	企業名のバス停の設置や車内放送、時刻表への表示による企業や店舗のPRなど活性化のツールとして、コミュニティバスを活かす		
基本方針4 持続可能な公共交通の確立を目指す			
目標① 次世代公共交通も含めた多様な移動手段を確保する			
(1)環境への配慮	★ 「小型電気バス」の導入や「ハイブリッド連節バス神都ライナー」の導入を促進し、CO2の削減に努める	①②	①電気バス及びハイブリッド連節バスの導入率（電気バス・ハイブリッド連節バスの台数/全台数） ②CO2削減量（算出方法は加藤先生と要相談） 例：通常車両の走行1kmあたりのCO2排出量×EVバス走行距離＝CO2削減量（港区）
(2)様々な運行形態への取組推進	★ 自動運転バスの導入に向けた実証実験を実施し、観光路線での本格導入を目指す。		
	自転車・シェアモビリティと公共交通との連携やグリーンローモビリティの導入など新たな交通システムの導入について研究を行う		
(3)集約連携型都市構造の促進	★ 「移動手段の確保」に対する不安解消のため、利用者ニーズ調査、潜在ニーズ調査を実施し、ニーズにあった路線再編を検討		
目標② 超高齢社会に対応した公共交通網の整備			
(1)将来公共交通網サービスのあり方検討	★ 将来、特に高齢化とその影響が懸念される地区の公共交通のあり方について継続して検討。 （商業施設管理者や病院関係者など、高齢化を考慮した際に主な行き先となり得る施設関係者に公共交通会議に出席して頂くなど、将来の交通体系を検討する新たなスキームについても検討）		

鉄道、タクシーがない。担い手確保策がない

令和7年度 事業計画（案）

1 コミュニティバス運行事業 R6と同じ

（1）伊勢市コミュニティバス運行〔おかげバス〕

- ①運行期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日
- ②運行ルート：全6路線
【環状線】【御園線】【辻久留・藤里線】【東大淀・明野・小俣線】
【鹿海・朝熊線】【二見線】
- ③運行事業者：三重交通（株）

●令和7年4月1日に以下の路線でダイヤ変更

- ・辻久留・藤里線…「伊勢やすらぎ公園」に停車する便の追加（7便）

（2）伊勢市コミュニティバスデマンド運行 R6と同じ

- ①運行期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日
- ②運行ルート：全3路線
【小俣・栗野デマンド（予約制）】〔栗野団地・植山方面、湯田・新村方面〕
【御園・小木・田尻デマンド（予約制）】
【沼木デマンド（予約制）】
- ③運行事業者：（株）三交タクシー

（3）広告協賛等の継続実施 R6と同じ

《令和7年4月1日現在》

①広告協賛

おかげバス 5企業（敬称略）

（ぎゅーとら、豚捨、へんばや商店、山本医院、三重交通）

②バス停留名称のネーミングライツ 6停留所の協賛の継続

〔おかげバス〕

- ・明野（へんばや商店本店前）

- ・ 小俣総合支所（ぎゅーとら 小俣店）
- ・ 宮町駅口（ぎゅーとら TRY mart. 宮町店）
- ・ 桧尻（ぎゅーとら ハイジー店）…〔路線バスと共通〕

〔三重交通 路線バス〕

- ・ 桧尻（ぎゅーとら ハイジー店）…〔おかげバスと共通〕
- ・ 伊勢警察前（ぎゅーとら ラブリー神田久志本店）
- ・ 宮町駅口（ぎゅーとら TRY mart. 宮町店）
- ・ 岩渕（日本公庫前）

2 沼木地区自主運行バス運行事業 R 6と同じ

沼木バス（定時定路線）

- ①運行期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日
- ②運行ルート：【神園行き】、【南伊勢高校度会校舎前行き】
【度会方面行き】、【横輪口行き】、【床ノ木方面行き】
1日11便
- ③運行事業者：沼木まちづくり協議会

3 路線バス運行維持事業 R 6と同じ

廃止代替路線バス 伊勢玉城線の運行の継続

- ①運行期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日
- ②運行ルート：伊勢市駅前～田丸城跡（玉城町役場）～伊勢市駅前（A・B回り）
平日10便/日、土日祝8便/日
- ③運行事業者：三交伊勢志摩交通（株）

4 地域公共交通促進事業

伊勢市地域公共交通計画の策定と伊勢地域公共交通会議の運営を行います。

（1）伊勢市地域公共交通計画の策定

令和7年3月に計画期間満了を迎える伊勢市地域公共交通網形成計画について、現在新たな計画案の策定を進めています。計画をより良いものとするため、オープ

ンハウスの開催による広聴の機会を設けるなどし、令和7年度中の策定を目指すこととします。（詳細は議案第1号）

（2）伊勢地域公共交通会議等の開催（予定）

回数	開催日時	内容
第1回	令和7年6月	・事業報告、決算（令和6年度） ・地域公共交通計画案（素案） ・生活交通確保維持改善計画（フィードバック）
	令和7年8月	・オープンハウスの実施
第2回	令和7年10月	・地域公共交通計画案（修正案） ・オープンハウスの結果報告
	令和7年11～12月	・パブコメの実施
第3回	令和8年1月	・地域公共交通計画案（最終承認） ・事業評価（一次評価） ・ダイヤ改正等
第4回	令和8年3月上旬	・地域公共交通計画策定 ・令和8年度事業予定、事業予算等

※予定のため、変更となる可能性があります。

（3）夜間早朝交通対策部会（専門部会）について

昨年度は三重県による実証事業の実施により、伊勢市を中心としたタクシーの需給バランスの調査を行い、夜間帯の需要と供給の大まかな状況が明らかとなりました。今年度も引き続き関係者と議論を重ねながら、二次交通の充実に向けた実証事業を実施します。

【参考】令和6年度の夜間早朝交通対策部会の実施状況

回数 (通算)	開催日時	内容
第9回	令和6年11月8日(金)	・ライドシェア実証事業について

※第10回については、ライドシェア実証事業の検証結果が取りまとめ次第、開催を予定しています。（4月下旬～5月頃を予定）

5 利用促進事業

●新規事業●

①バスの乗り方動画（外国人向け／日本人向け）の公開

伊勢市を訪れる外国人観光客がバスを利用して観光を楽しめるよう、バスの乗り方動画を作成。多言語と日本人向けのショート動画で、乗車から降車までの一連の流れを解説します。公開後は伊勢市の Youtube チャンネルのほか、QR コードをバス停やバスの車内に貼るなどして周知します。

②市制 20 周年記念 バスの無料お試し乗車券の配布

※別紙 2－1 参照

③バス待合環境改善事業

上屋およびベンチが整備されていないおかげバスのバス停で、利用者が年間 500 人以上ある箇所について、ベンチの設置の可否を調査し、設置可能な場所へ順次ベンチを整備します。また、同時に協賛企業を募り、協賛企業は自社の名称等をプレートでベンチに刻印できることとします。

④SNS アカウントの開設

公共交通の情報発信ツールとして、X および Instagram のアカウントを開設します。新規事業や継続事業の告知など、これまで情報を届けにくかった若い世代や観光客をターゲットに、情報を発信していきます。

●継続事業●

①公共交通でゆく 神宮 125 社めぐり帖

令和 6 年度は「二見エリア」をリリースしました。令和 7 年度は「外宮エリア」を含む 2～3 エリアを作成し、公開します。

②インターネットでの時刻表情報の提供（提供先：ジョルダン、ナビタイム、駅探、もくいく、駅すばあと（YAHOO 路線情報）、Google マップ）

おかげバスについては、Google マップでリアルタイム情報を発信し、遅延情報を表示します。

- ③伊勢市公共交通時刻表の発行、各戸配布（広報いせ 6/1 号と同時配布）
- ④広報いせへの記事掲載、ケーブルテレビでの放映
- ⑤バスの乗り方教室の開催（対象：小学生・高齢者）
- ⑥バスポスターコンクールの開催（対象：小学生（夏休みの課題））
 - ・最優秀賞受賞者は環状線の車内音声放送を依頼
- ⑦伊勢まつりでのPRブースを設置（10 月を予定）
- ⑧伊勢市公式 LINE アカウント「公共交通案内」チャットボットの活用
- ⑨自動運転実証事業
- ⑩ライドシェア実証事業

令和 6 年度の実証結果を踏まえ、令和 7 年度はより長期間の実証を行います。タクシー事業者が導入した場合の採算性の検証や、令和 6 年度実証時の課題解決を目標とし、日本版ライドシェアが伊勢市のタクシー不足を解決する一助となり得るかを検証します。

市制20周年記念

みんなでバスに
乗ってこに！

～11/1～11/3 バス運賃無料券配布～

- 対象
- ・伊勢市民

●ねらい

- ①普段バスを利用していない
新たな利用者を獲得する。

- ②新規利用者獲得のために、市民が

- ・バスの乗り方を「知る」
- ・最寄りのバス停を「知る」
- ・バスの時刻の調べ方を「知る」
- ・バスに乗る「体験」をする

- ③マイカーを持たない市民の外出機会創出

- ④SNSキャンペーンによる、若い世代への
アプローチ

●配布方法

- ・広報いせ 10/15号で全戸配布

市制20周年記念 みんなでバスに乗ってこに！

※参考イメージ



<表面>

- ・無料乗車券
- ・取組の主旨
- ・利用方法
- ・#のってこいせ #市制20周年
SNSキャンペーンの告知など

<裏面>

- ・バスの乗り方
- ・運賃について
- ・おかげバスと路線バスの違い
- ・最寄りのバス停、時刻表メモ欄
- ・バスロケなどのQR

#のってこいせ
#市制20周年
のハッシュタグでSNSに投稿
してもらい、若い世代で
バスに乗る「楽しさ」をシェア！



<その他>

- ・市内に乗り入れする全路線で使用可。（おかげバス・デマンド・沼木バス含む）
- ・モニターを募集し、動向調査等を行う。
- ・#のってこいせ #市制20周年のハッシュタグをつけてSNSに投稿した人の中から、
抽選で10名にQUOカードを進呈するキャンペーンを実施。
- ・幼児や小学生が「乗ってみたい！」と思えるよう、チラシへのミジユマル起用を打診する。

議案第 3 号

令和 7 年度 事業収支予算（案）

（歳 入）

（単位：円）

科目	本年度予算額 (A)	前年度 当初予算額 (B)	比較増減 (A－B)	摘 要
負担金	8,898,000	5,869,000	3,029,000	市負担金
補助金	23,827,000	2,500,000	21,327,000	フィーダー補助金 伊勢市（沼木バス）分 112,000 円 三重交通分 16,719,000 円 交通空白補助金 6,597,000 円 不便地域補助金 399,000 円
繰越金	1,000	1,000	0	
雑収入	0	1,000	▲1,000	
計	32,726,000	8,371,000	24,355,000	

(歳 出)

(単位：円)

科目	本年度予算額 (C)	前年度 当初予算額 (D)	比較増減 (C－D)	摘 要
事務費	344,000	155,000	189,000	振込手数料・一般郵送料等 21,000 円 会議会場使用料 135,000 円 オープンハウス会場代 188,000 円
事業費	15,551,000	8,216,000	7,335,000	
消耗品費	367,000	197,000	170,000	啓発物品購入 228,000 円 ポスター展開連経費 139,000 円
印刷製本費	3,541,000	2,994,000	41,000	伊勢市公共交通時刻表 2,979,000 円 神宮 125 社めぐり制作物等 312,000 円 計画製本費 250,000 円
委託料	11,643,000	5,025,000	6,618,000	ライドシェア実証事業 9,246,000 円 三重県見える化事業 GTFS-JP データ作業委託料 10,000 円 神宮 125 社めぐり業務委託 1,304,000 円 伊勢市地域公共交通計画策定 支援業務委託 1,083,000 円
補助金	16,831,000	0	16,831,000	フィーダー補助金 伊勢市（沼木バス）分 112,000 円 三重交通分 16,719,000 円
計	32,726,000	8,371,000	24,355,000	

議案第 4 号

令和 6 年度 事業収支補正予算（案）について

伊勢地域公共交通会議の令和 6 年度事業予算について、以下のとおり補正予算を編成したい。

（歳 入）

（単位：円）

科目	当初予算額 (A)	今回補正額 (B)	補正後予算額 (A + B)	摘 要
負担金	5,869,000	0	5,869,000	市負担金
補助金	2,500,000	500,000	3,000,000	三重県交通不便地域等移動 手段確保総合対策補助金 (2,500,000 円) 地域公共交通調査等事業 補助金 (500,000 円)
繰越金	1,000	55,000	56,000	前年度より
雑収入	1,000	▲1,000	0	
計	8,371,000	554,000	8,925,000	

（歳 出）

（単位：円）

科目	当初予算額 (C)	今回補正額 (D)	補正後予算額 (C + D)	摘 要
事務費	155,000	0	155,000	振込手数料、郵送料、 収入印紙、会議室使用料等
事業費	8,216,000	▲54,000	8,270,000	
消耗品費	197,000	0	197,000	ポスターコンクール、 バスの乗り方教室、 伊勢まつり関連経費等
印刷製本費	2,994,000	▲844,000	2,150,000	総合時刻表印刷経費等

委託料	5,025,000	779,000	5,804,000	ライドシェア実証事業 125 社めぐり関連委託等
使用料	0	119,000	119,000	125 社テキスト・画像使用 料
補助金	0	500,000	500,000	地域公共交通調査等事業 補助金
計	8,371,000	554,000	8,925,000	

おかげバスデマンド（予約制）等の運行事業者について

去る令和 6 年 12 月 25 日に開催しました令和 6 年度 第 4 回 伊勢地域公共交通会議でお諮りいたしました「議案第 4 号 令和 7 年度伊勢市コミュニティバスの運行及び路線・ダイヤ変更について」について、下記のとおり令和 7 年度の運行事業者が決定しましたので、ご報告いたします。

記

1 おかげバスデマンド（予約制）

(1) 運行事業者について

株式会社三交タクシー

（伊勢営業所：伊勢市竹ヶ鼻町 237 番地 7）

(2) 運行期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日

2 沼木バス（予約制）

(1) 運行事業者について

株式会社三交タクシー

（伊勢営業所：伊勢市竹ヶ鼻町 237 番地 7）

(2) 運行期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日

【速報結果】三重県伊勢市「日本版ライドシェア」実証事業

報告第2号

概要

- 実証期間 令和6年12月5日(木)～令和7年3月1日(土) ※12月31日(火)・1月1日(水)も実施
- 運行概要 木曜(3台以内)、金曜(6台以内)、土曜(8台以内) 20時～24時
- 運行主体 安全タクシー三重、三交タクシー、三重近鉄タクシー
- 事業費 5,000千円(県1/2補助)



■ 利用実績

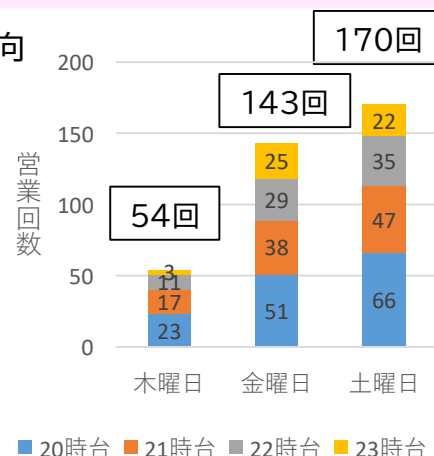
- ①対象期間:12/5(木)～3/1(土)
※13クール、41日
※12/31、1/1を含む
- ②累計稼働台数:145台
- ③累計営業回数:384回
※年越し営業回数:12/31 8回、1/1 9回
- ④1日あたり平均営業回数:平均9.4回
木曜4.2回 金曜11回 土曜13回
- ⑤苦情、事故等報告なし

■ 時間・曜日別傾向

・木・金・土曜
営業計367回

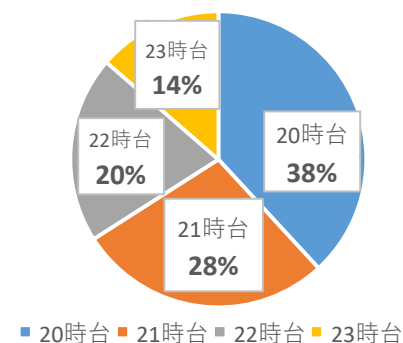
・曜日別では
土曜日の需要
が最も高い。

・時間帯別では
20時～21時台
の需要が高い。



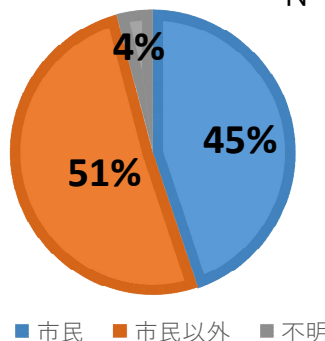
時間帯別の運行回数割合

※特別運行12/31～1/1を除く



■ 利用者属性

※ドライバー聞き取り
N=98人



利用者の声

- ・毎年伊勢市を訪問している。さすが観光都市！(大阪からの旅行者)
- ・タクシーは1時間待ちと言われた。ライドシェアが利用できて便利だった。(旅行者)
- ・伊勢市に引っ越して1年経つが、夜のタクシーは少ない。ライドシェアは大変ありがたい。(市民)
- ・もう少し遅くまで利用できるとうありがたい(市民)

課題

- ・自家用車持ち込みによるドライバーが少ない
- ・年末年始の内宮周辺の交通規制
- ・幅広い職種からドライバー雇用する必要がある
- ・事前研修の受講予約が取りづらい
- ・GOアプリのさらなる周知が必要
- ・配車可能エリアの拡大検討
- …etc



報告第3号

神宮 125 社めぐり（二見エリア）の完成について

1. ホームページコンテンツ（トップページと二見エリア）の公開（2/28）

「公共交通でゆく 神宮 125 社めぐり」

<https://125megurichou-ise.jp/>



2. 3/8（土）二見エリアウォーキングツアーの開催

文化政策課の山本翔麻氏（学芸員）が案内人となり、二見エリアの7社のうち5社を巡るウォーキングツアーを開催しました。

●参加者：15名（定員15名）

●行 程：御塩殿神社～おかげバス～江神社～神前・許母利・荒前神社

